

こだいらしょうがいしゃ
せいかつおうえんがいと
おーえん

だいじゅういちごう
へいせい27ねん
11がつ11にち

こだいら障がい者 生活応援ガイド

お～えん

O～en

第11号

平成27年11月11日



こんかい
今回のおーえんは、
こだいらし しょう しゃ ふくし
小平市 障がい者福祉
けいかく だいやんきこだいらししょうがい
計画・第四期小平市障 害
ふくし けいかく さくてい いいんかい
福祉 計画 策定 委員会の
いいんちょう かつやく
委員長として活躍された
たきぐち せんせい さくてい
瀧口 先生に、策定に
あ かんが くるうばなし
当たっての 考えや苦勞話、
こんご こだいらし むか
今後、小平市の 向う べき
ほうこう か
方向などを 書いて いただ
きました。

たの よ
楽しんで読んでください。

「小平市障がい者福祉計画・第四期小平市障害福祉計画」の策定に関わって

—自立支援と共生社会をつなぐ—

たきぐちまさる しらうめがくえんたんきだいがく
瀧口 優 (白梅学園短期大学)

1. 障がい者問題の全体をつかむ

2014年5月から2015年3月まで上記計画の策定委員会に関わり、2015年4月からの新たな計画がスタートしました。ほぼ1年間、5回の委員会とワーキング会議(事務局との打ち合わせ)、市民懇談会への参加、および小平市障害者団体連絡会(小障連)の総会などへの参加と目まぐるしい動きとなりました。

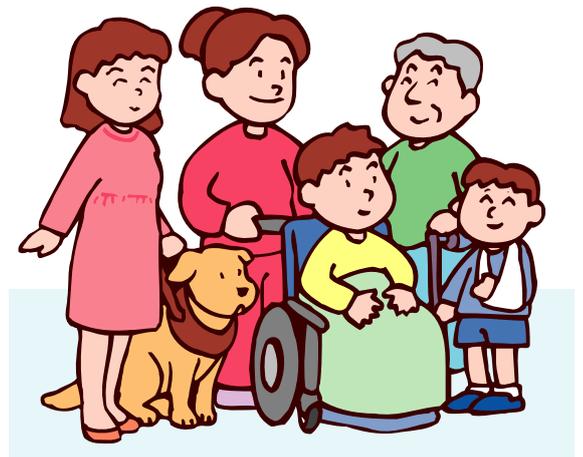
まず私がやらなければならなかったことは、前回の計画書を踏まえて、小平市における障がい者の問題がどのようになっているのかを知ることでした。しかし障がいの分野が様々あり、それぞれに複数の課題を抱えている状況の中で、全体像をつかむのは大変でした。

2. 自らの理解を深めるために

そこで小平市と同じ人口規模の西東京市、三鷹市、日野市、立川市の障がい者問題の取組みと比較しながら自分なりのまとめをつくることで理解をすすめるという形をとりました。それぞれの取組みをホームページや担当者へのヒヤリングを通じて整理し、小平市との比較を進めました。その結果、策定委員会の構成や計画策定の進め方など、それぞれの行政の特徴が表れていることが分かりました。

その中で小平市は「市民や当事者に策定委員会への積極的な参加を求めている」ことが見えてきます。

5回の委員会とワーキング会議ではこのことが明確に表れています。



3. 委員会審議の中で

5回の委員会では、障がいを持っている当事者やその関係者から切実な声が寄せられ、それが議論の中心になることもありました。委員長としては常に計画の全体を視野に入れなければなりません。時には発言を調整せざるを得ませんでした。

幸い、事務局がこうした声を積極的に受け止めて計画の中でできるだけ盛り込んでいこうという姿勢があり、かみ合った議論になったと思います。ただし5回だけでは議論しきれない課題がたくさんあり、もっと時間がほしいという要望も出されていました。



【計画検討委員会】

4. 今後の課題として

今回の計画策定を通じて特に3つの課題を考えています。

まず、第一に「より良い障がい者計画を策定していくために、その内容と展望を明らかにする」ということです。国や東京都、小平市の財政状況を踏まえ、それをどのようにプラスに組み替えていくのか、行政単位で考えなければなりません。幸い、小平市には「小障連」があり、多くの障がい者関係の団体が参加しています。もちろん全ての団体が結集しているわけではありませんが、声を集めることができます。

第二の課題として、2013年から施行されている「障害者総合支援法」を視野に、2014年に批准した「障害者権利条約」（以下「権利条約」）を計画の実行においてどのように生かしていくのかということです。「権利条約」は実施義務が国連から求められます。それを背景に施策が実行されなければなりません。

第三の課題として、「市民全体として障がい者問題を考える道筋」をつくることです。白梅学園大学・短期大学でも顔の見える人間関係づくりを目指して「小平西地区地域ネットワーク」を立ち上げ、4年目に入っています。障がい者問題が地域の中で語られ、

受け入れられ、そして尊重そんちようされる、そんな地域ちいきづくりが求められています。障しょうがい者しゃが
住みやすい街まちはみんなが住みやすい街まちです。

今回の計画こんかい けいかくがこうした課題かだい いっぼに一步でも近づくことになればありがたいです。

5. 終わりに

小平市地域自立支援協こだいらしちいき じりつ しえんきょうぎかい議会は、こうした計画けいかくに基づいて様々さまざまな課題かだいに対処たいしょしていく
重要じゅうような役割やくわりを担たっているとおもいます。3年後ねんごにはまた次つぎの計画けいかくを立てなければなりません。
今回こんかい じゅうぶん十分とくに取り組めなかったところを是非ぜひ次回じかいの策定さくていで生かす必要いがあります。
策定さくていした一人ひとりとして障しょうがい者しゃ問題もんだいに更さらに関わっていきたいと思おもいます。

★O~en (お~えん) は、ホームページでも見ることが出来ます。

<アドレス> <http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp>

ホームページでは以下のように進んでください。

小平市社会福祉協こだいらししゃいかいふくしきょうぎかい議会> 自立生活支援センターじりつせいかつしえんひびき> 自立支援協じりつしえんきょうぎかい議会> 「お~えん」

【発行：作成】

小平市地域自立支援協こだいらしちいき じりつ しえんきょうぎかい議会 情報部会じょうほうぶかい

【問い合わせ】

小平市地域自立支援協こだいらしちいき じりつ しえんきょうぎかい議会 事務局じむきょく

小平市障こだいらししょうがい者地域自立生活支援センターしゅちいき じりつせいかつしえんひびき

〒187-0043 小平市学こだいらしがくえんひがしちょう園東町1-19-13

福祉会館2階ふくしかいかん かい

TEL (042) 341-6555

FAX (042) 341-6220



じかいはっこう
次回発行は、
へいせい ねん がつ
平成28年2月を
よてい
予定しています。

小平市障しょうがい者生活しゅせい心援しんえんガイド「お~えん」では、皆さまからのご意見ごいけん・ご感想ごかんそうをお待ちしております。
上記じょうきの事務局じむきょく（小平市障こだいらししょうがい者地域自立生活支援センターしゅちいき じりつせいかつしえんひびき）までお寄せください。よろしくお願ねがいし
ます。